



「ヤーツ」野田中学校武道場で行われた剣道体験の一コマ

7月30日(金) **言葉はいらない スポーツで語ろう**

7月30日(金)～8月3日(火)、ドイツスポーツ少年団の一行が田原市を訪れ、スポーツなどを通じて市民と交流を深めました。訪れたのは、日独スポーツ少年同時交流で来日した125名のうち団員9名と指導者1名の計10名。団員たちは野田スポーツ少年団関係者の家に分かれてホームステイし、剣道や野球、バドミントンなどで交流したほか、トヨタ自動車(株)田原工場の見学や三河湾クルーズなども楽しみました。



協議会発足式であいさつをする白井孝市会長(田原市長)

7月26日(月) **つくりたいね 笑顔あふれるまち**

犯罪の防止と、安全・安心な渥美半島の実現を目指し**田原渥美安全なまちづくり協議会**が発足しました。この協議会は、県の安全なまちづくり条例に基づき設立されたもので、主体となった田原警察署のほか、田原市・渥美町両市町の行政や各種団体など30名の委員で構成されています。今後は、地域の実情に即し策定された推進計画に基づき、各種啓発活動、公共施設や商業施設の防犯対策などが実践される予定です。



「浦島太郎」の登場人物に扮した白谷町の子どもたち

8月15日(土) **海に感謝する心 とこしえに**

江戸時代から続くといわれる伝統の**龍宮まつり**が白谷町で開催されました。このまつりは豊漁と海の安全を祈願するもので、浦島太郎に扮した子どもが亀にまたがり、漁船団と一緒に沖に出るユニークなもの。この日はあいにくの波模様で、亀が沖に出られませんでした。大漁旗をなびかせた漁船団が海の守り神にお供物を捧げました。また、浦島太郎の寸劇が子どもたちによって披露され、訪れた人々を楽しませていました。



若者や家族連れでにぎわった白谷海水浴場

8月7日(土) **思い出たくさん 夏のビーチ**

うだるような暑さだった今年の夏、田原市の海水浴場もたくさんのお客さんでにぎわいました。ゆったりとした砂浜の**白谷海水浴場**では、多い日は1日で約2000人の入出を記録。恒例のビーチバレーボール大会や宝探しなど、楽しいイベントも行われました。青松が古き良き時代の風情を醸し出す**仁崎海水浴場**は、キャンプやバーベキューで夏の思い出を作る家族連れやグループの笑い声が絶えませんでした。